

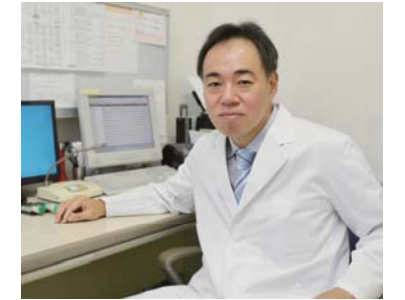


Information

Information 1

腎臓内科新設のご案内

腎臓は‘沈黙の臓器’といわれ、相当悪くなるまで症状が出ないことも少なくありません。また、症状といっても、むくむ、だるい、食欲がないといった程度で、腎臓特有のものではなく、病院の検査で腎臓の数値が悪いと言われ、驚かれる方もおられます。腎臓の病気は進行してからでは、現代の医療をもってしても、根治することは極めて困難です。でも早期に異常が見つかり、適切な治療を行えば、進行をかなり抑えることができます。



神鋼病院腎臓内科
医師 城戸 秀典

腎臓病は、とくに早期発見、早期治療が重要と言われています。血液や尿検査で腎臓が悪いと言われた方、最近体がだるい、むくむといった方も、気軽に腎臓内科を受診していただければ幸いです。

脳神経外科×神経内科

片側顔面けいれん

顔や目の周りが勝手にピクピク動いてしまう不思議な病気

症状が出たり、出なかつたり…。
片側顔面けいれんってどんな病気なの？

顔の片方だけがびくびくと動いてひきつれる状態を「片側顔面けいれん」と呼びます。外来を受診される典型的な病歴は、「最初は少し右目の周りが時々ピクピクする程度だったんです。」

「そのうち緊張したりすると頻度が多くなって、最近になつたら目の周りから口の方までずっとピクピクするようになつてしまつて…」

「目のけいれんがひどくなつて来て目が開けられなくなつてしまふ事があるんです」

「車の運転中に起こると危なくて車に乗られないんです」

こんな症状で受診されます。最初は目の周りがびくびくする状態から始まり、やがて精神的に緊張すると勝手に目の周りがひきつれ、目が開けられなくなり、つぶつてしまふ状態となります。放つて

同じような症状だけど違う病気。専門家に診てもらふことが大切です。

同じような症状の病気で「眼瞼けいれん」という病気があります。眼瞼けいれんは両目がピクピクとけいれんし眼が閉じてくるもので、症状は似ていますが、原因は片側顔面けいれんとは違うため、治療方法も違うものになります。



時などで症状が異なるなどの特徴があります。特にこの病気は女性に多いため、病気がひどくなると外に出るのがおっくうになつたり、また他人と会うことを避けるようになつたりします。一般的に症状が一時的に良くなることはありますが、自然に治る事は無く、進行性です。50才前後より認められ、30才以下はまれです。男性に比べて2〜3倍女性に多い事がわかっています。

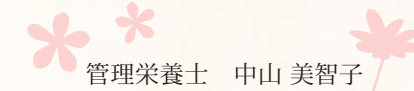
- ・脳神経外科&神経内科「片側顔面けいれん」
- ・最新鋭マルチスライスCT装置導入
- ・新入職医師のご紹介
- ・Information 腎臓内科新設のご案内
- ・ヘルシーレシピ オクラの簡単白和え

神鋼病院理念
地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

- 基本方針
1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
 2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
 3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
 4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
 5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

医療法人社団 神鋼会 神鋼病院
〒651-0072 神戸市中央区臨浜町 1-4-47
TEL: 078-261-6711 (代表)
FAX: 078-261-6726
発行責任者: 病院長 山本 正之
編集責任者: 神鋼病院広報委員長 山神 和彦

ヘルシーレシピ — Healthy Recipe —



管理栄養士 中山 美智子

オクラの簡単白和え

6〜9月に旬を迎えるオクラを使った白和えをご紹介します。オクラの粘りの主成分は、水溶性食物繊維のペクチンと、多糖類のムチンから構成されています。ペクチンは血圧やコレステロールの低下作用、ムチンには、胃の粘膜を保護し、胃腸を整える働きがあります。



梅雨から夏に向けて食欲の落ちやすい時期に、口当たりの良いオクラの白和えを献立のバリエーションに加えてみてはいかがでしょうか。また、気温が高くなると痛みやすいため、調理後は早めにお召し上がり下さい。

【作り方】

- ① 豆腐は重しをのせて水切りをする。
- ② オクラは塩を振って板ずりし茹でてから輪切りにする。人参は短冊切り、椎茸は石づきを切り薄切りにし、それぞれを茹でる。
- ③ 調味料を合わせた中に、①の豆腐を入れて手で潰す。
- ④ ③に②を加えて和える。

【材料】2人分

- ・木綿豆腐 80g (1/4丁)
- ・オクラ 30g (約4本)
- ・人参 25g (約2cm)
- ・生椎茸 20g (小約2枚)
- ・すり白ごま 4g (大さじ1/2)
- ・上白糖 7.5g (大さじ3/4)
- ・薄口醤油 9g (大さじ1/2)

【1人分栄養量】 69kcal、たんぱく質 4.0g、脂質 2.8g、食物繊維 1.9g、塩分 0.7g

どうして片側顔面けいれんが起るの？ どんな検査をしたら病気が分かるの？

顔の表情動きを司る顔面神経は、左右に一本づつあり、各々左右の顔の筋肉に指令を送っています。けいれんの原因としては、脳から顔面神経が出てくるところで、脳へ栄養を送る血管がこの顔面神経に当たって、神経が過敏になることによりけいれんが起ります。顔面神経が脳幹から出た直後の部分には神経のカバー(鞘)が弱い部分があり、この部分に血管が接して異常な電気刺激が生じることが余計な神経の働きを招いていると考えられています。また、この部分の腫瘍や血管奇形・脳動脈瘤によりけいれんや痛みを出す場合もあります。

また、顔面連合運動は、ヘル麻痺など顔面神経麻痺になつた後に発症し、顔面を動かすときに症状が出るのが特徴です。

診断をするにあたり、MRI(磁気共鳴診断装置)と呼ばれる機械で細かく検査しま

す。80%の患者さんで、血管が当たっていることを見つけられます。また、脳腫瘍や血管奇形・動脈瘤などが原因であるかどうかMRIで調べることが出来ます。動脈瘤や

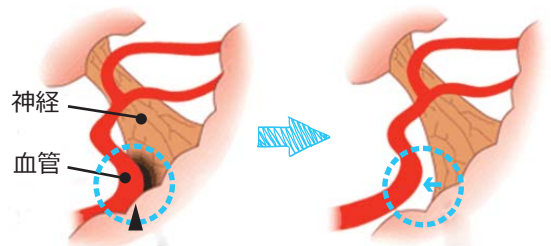
患者さんそれぞれの背景をよく考えて、 内服・注射・手術から自分の治療法を選択。

治療は内服治療、注射治療、手術の3通りがあります。発症早期(症状が出てから2ヶ月以内)は内服治療が望ましいと思われれます。当院ではビタミンE製剤、抗けいれん剤などを病状に応じて処方しています。発症早期から治療した場合は一時的にはほとんどの方が治ります。

中等度以上の片側顔面けいれんの場合、顔面連合運動の場合、6ヶ月以上症状が続いている場合、内服治療に効果がない場合は注射治療がお勧めです。ボツリヌス治療という顔面の筋を麻痺させ

腫瘍による症状と診断された場合は、命にかかわるため、そちらの治療が優先されます。

MRI以外の検査としては、電気生理検査や血液検査で末梢神経の病気、神経と筋肉の病気の有無を確認することがあります。



【図1】左図▲のように神経を圧迫している血管を、右図のように神経から離すとけいれんは止まります

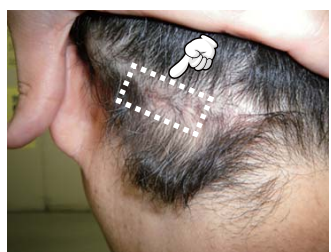
る薬を使用します。注射後3日で効果が出現し約半年間有効な場合が多いです。ボツリヌス治療(薬剤名:ボトックス注)は1本約5万円する薬剤なので保険診療でも5千円~1万5千円の費用がかかります。治療効果は抜群ですが、原因が取り除かれるわけではないので、繰り返す治療する必要があります。また軽い顔面神経の麻痺が伴います。

薬の服用やボツリヌス注射でも症状は改善しますが、これらの方法は原因を治していないので根本的な治療ではあ

りません。ですから、症状が一旦消失しても薬の効果が切れればやがて再発し、完全に治る事はありませんので、薬や注射を繰り返し投与しなくてはなりません。

また当院ではできるだけ傷を小さくするように鍵穴手術法でこの手術を行っています。術後の傷が写真のように耳の後ろに2~3cm程度で、ほとんどわかりません(図2)。剃毛もほとんど必要ないため、退院後はすぐにお仕事に復帰できます。

有効率は非常に高く、95%以上でけいれんが完全に消失あるいは軽減します。もち



【図2】鍵穴手術では手術傷は約2~3cm程度です。髪の毛の中で全く目立ちません

ろん手術は最も体に負担がかかる方法です。手術による命の危険もゼロではありませんし、有効性も100%ではありません。中には効果がなかったり再発する場合もあります。

神経内科 医長
松本 真一
Shinichi Matsumoto
平成5年に高知医科大学を卒業。
日本神経学会認定医・指導医、
日本内科学会認定医、日本臨床神経生理学会(筋電図・脳波)認定医などの資格を持つ。



脳神経外科 部長
上野 泰
Yasushi Ueno

平成4年に京都大学を卒業。
日本脳神経外科学会専門医、
日本脳卒中学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、
日本がん治療認定医機構認定医、日本神経内視鏡学会技術認定医などの資格を持つ。



十分な効果が得られない場合は、手術治療を選択すべきです。営業など人と接する仕事の方は入院すると就労に影響するため2カ月に1回ボツリヌス治療をされる方もいます。ボツリヌス治療も手術も怖いという方は、内服治療のみで治療しています。中年以降の方は動脈硬化など生活習慣病(高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙など)により発症している場合もあり、内科的治療による全身管理的な治療により治る方も数%はいます。

片側顔面けいれんは上記のように様々な疾患、治療選択があり、脳神経外科・神経内科の専門医とじっくり相談して治療法を選択してください。当院では神経内科の松本真一が内服・ボツリヌス治療を行っています。また外科手術に関しては脳神経外科の上野 泰が三叉神経痛・顔面けいれんの専門外来を毎週月曜日に行っております。いつでもご相談下さい。

最新鋭マルチスライス CT装置が導入されました



放射線診断科 部長 湯浅 奈美

になりました。気になる放射線被ばくも以前より少ない量に抑える工夫がされています。

放射線センターでは、放射線診断科医師、診療放射線技師・看護師が協力しながら、この最新鋭のCT装置を駆使して、患者さんの負担をできるだけ減らしながら診療に役立つ検査ができるよう努めていきたいと考えています。

2013年5月、当院放射線センターに「Aquilion ONE / ViSION Edition(東芝メディカルシステムズ社製)」が導入されました。昨年7月に販売が開始されたばかりの最新鋭のマルチスライスCT装置です。

CTはX線を身体に垂直に当てて横断像を得る装置です。これまでのCTでは1回転で4枚しか撮影できませんでしたが、今回のCTでは1回転で320枚も撮影できるようになりました。また、以前は1回転の撮影時間が0.5秒かかりましたが、今回は最速でわずか0.275秒と短くなりました。今までより短い息止めの時間でたくさんの画像が得られるのに加え、身体の内부를細かく観察できるように